

第3回 光が丘第四中学校跡施設活用検討会議 議事概要

日 時	平成29年11月6日(月)午後2時~午後2時40分
場 所	練馬区役所西庁舎9F 9-2会議室
次 第	1 開会 2 議題 (1) 光が丘第四中学校跡施設活用検討会議報告書(案)について 3 その他
配付資料	資料1 光が丘第四中学校跡施設活用検討会議報告書(案)
出席委員	杉浦 浩、瀬田 史彦、秋間 ひろ美、鳥海 隆秀、 関 洋一、野田 友子
欠席委員	牧 民郎
区出席者	[ 幹事 ] 企画部長 佐々木 克己 [ 事務局 ] 企画課長 佐古田 充宏

1 開会

2 議題

(1) 光が丘第四中学校跡施設活用検討会議報告書(案)について

【会長】

皆様方にお集まりいただきまして、ありがとうございます。検討会議が最終回ということですが、よろしくお願ひいたします。

それでは、ただいまより、光が丘第四中学校跡施設活用検討会議を開催します。お手元の会議次第に沿って進めてまいります。

議題の1番目、光が丘第四中学校跡施設活用検討会議報告書(案)について、事務局よりご説明をお願いします。

【企画課長】

資料1 光が丘第四中学校跡施設活用検討会議報告書(案) 説明

【会長】

報告書(案)につきまして、これは全2回にわたり、この会議で議論した内容を取りまとめ、よろしければ区に提出をするというものでございます。

どうぞ、ご意見、ご質問をお願いいたします。

【副会長】

細かい点ですが、5ページの上から3行目ですが、これは日本語の文章がかしいようなので、内容はいいと思うのですが。

「光が丘第四中学校跡施設を活用して検討がされた」わけではないですね。

なので、ここは、「練馬光が丘病院の移転・改築先として光が丘第四中学校跡施設の活用の検討がされた」とか、そのような感じだと思います。

**【委員】**

私が気になったのは、この検討会議は、光四中の跡施設活用が大きな前提であるのに、光七小の跡施設の活用を並列に書いてよいものかどうかということです。

特に5ページの役割分担の図の中に、これを入れ込んでよいものか。なぜなら、光四中の跡施設活用として、光が丘病院の立替え用地の提案があり、次に候補としていた光七小と比較、さらに光四中に医療施設を設けるのであれば、光七小を他に活用できないかという順序があったと思うのです。それに関して検討をさせていただいたのは、参考として意見を述べさせていただいた程度で、それを大きく役割分担の中に掲げてよいものかということが疑問に思いました。

**【会長】**

七小の記述は区分けして書いた方がよろしいですかね。

**【委員】**

そうですね。並列ではなく、少し下げて記載して頂きたい。

**【会長】**

両方を一つのテーマの課題として扱うには重みが違うのではないかというようなご意向だと思いますが。

**【企画課長】**

初めから二つの跡施設活用を検討しようという形で会議が始まったわけではないのはおっしゃるとおりです。四中の活用をどうするかということを検討するために、始まったわけで、四中を病院として使うのがいいだろうといったときに、もともと病院だった七小は、具体的に何に使おうかという経緯であったと認識しています。

初めから、両方とも検討するのが所掌事項だったというのは、会議のそもそもあり方としておかしいというのはごもっともです。検討会議の役割という資料が11ページについていて、ここには、確かに四中の有効活用について検討する、そこに導入すべき施設や機能について検討するということになっていて、その他区長が必要と認める事項という中で、関連事項として七小の話が出てきているので、この図表のところの書き方は改めさせていただきます。

**【企画部長】**

真ん中に七小が入っているのが、おかしいのだと思います。そもそもの前提ではないので、これは後からつけ加わったので。タイトルは四中の検討ですから。

**【委員】**

そうです。それで違和感を覚えました。

**【企画課長】**

そうですね。ご指摘はごもっともでございますので、修正するようにいたします。

**【会長】**

ただ、七小についても検討をしなくてははいけませんよね。玉突きに、その検討を今回、省略するわけにもいかないと。順番と重み付けを、メリハリをつけていただくということで。

**【企画課長】**

この会議の報告として、七小はこういう形で活用することが望ましいとの結論はい

ただかなければいけないですし、そういう検討も実際にもしていただいた。ただ、初めから二つのことを決めようとして集まったわけではないし、どういう経緯で七小の話におよんだかということが、この経緯の中でもわかるようにしなければいけません。この図表は特に、初めからこの二つを検討することで、さもあつたかのように見えてしまうので、ここの記述は直します。

**【委員】**

特に1ページ(1)の6行目で、「検討会議では」というところから入ってしまうと、様々な課題があるから、その活用について検討したと誤解されてしまいます。

光四中の課題を検討する中で、光七小の跡施設利用も出てきたという順序にもかかわらず、ここを並列に置いてしまっているという点が気になりました。

**【企画部長】**

「あわせて」と言ってしまうと並列になってしまいますよね。

**【委員】**

ここでは、病院のことを触れずに跡施設利用だけにとどめています。それは、病院の懇談会との役割の違いを明確にするために書かれていると思いますが、光七小を検討課題にした理由づけがなくなっているのです。

**【会長】**

それでは、事務局で再度、ここは整理していただくということをお願いします。そのほか、いかがでございましょうか。

**【委員】**

細かいことかもしれませんが、5ページの一番下、資料C-1案、C-2案をすることが望ましい。これは確かにそういう議論だったのですけれども、私の記憶違いかもしれませんが、皆さんの考えでは、C-2案の方がベターということだったのではないかと思うのです。

ですから、順位づけと言いましょうか、2案の両論併記はいいのですけれども、むしろ、C-2案が第一候補というような書き方はいかがでしょうか。

**【企画課長】**

ここの記述は、この検討会議ではなく、病院の基本構想策定懇談会での議論の状況について報告している部分なので、向こう側の会議で出された意見としては、C-2、C-1、どちらも今後の課題なので、どちらがというわけではなくて、いわゆるC案としての意見が多かった。こちらの会議では、確かにC-2がよろしいのではないかというお話だったのは承知しているのですが、ここは、向こう側、病院の基本構想策定懇談会の議論の途中経過ということで、そういう形になってございます。

**【会長】**

最終回でございまして、どうぞご発言をお願いします。ご感想でも、あるいは、これから実現に向けて区のご当局がいろいろと手順を踏みますから、それに対するご要望でも、何でも結構でございます。

**【委員】**

10ページの、学校跡施設活用に際しての留意事項ですけれども、この2点は確かにそのとおりだと思いますけれども、二つだけでは寂しいかなというような気がします。

今さら無理に考えることはないのかもしれませんが、もう少し、項目を増やした方が良いかなと。今、会長がおっしゃったみたいなことを踏まえまして。

【企画課長】

あとは考えられるとすれば、都市計画上の手續がいろいろとあるので、そういうことに触れることはあるかと。

【企画部長】

説明を丁寧にして下さいとか、そういうことは、ご意見として出ています。

【企画課長】

その辺は、私どもが計画をつくるときには、少し書き加える必要があるかなと思っていましたところ。こういった点を配慮すべきことといただいて、それを受けた形で書き込むことは可能です。

【会長】

ここに書かなくても、それは当然おやりになることでしょうけれども、でも、そういうことも、この会議は、どちらかという行政側ではなくて地域の視点からの会議ですから、地域からの要請ということで、そういうものがあつたというのは書いても不思議ではないような気がします。

【企画部長】

制度的なところをご存じの方もいれば、ご存じでない方もいらっしゃるのでは。

【企画課長】

余り詳しく踏み込み過ぎると難しい話になってしまうので、そういう関連の手續を地域の方に対して丁寧に進めるように、説明するようにというようなことを書かせていただきます。

【会長】

私の方から1点、内容というより、「はじめに」というところで述べていただきたいのが、下段で「検討に際して七小も合わせて」という検討対象の範囲の話があるのですが、我々の検討の視点というか、内容の話がここにほしいかなとか、私は、「行政の優先課題を踏まえながらも、地域の視点での議論をした」というような言葉が欲しいかなというような気がいたしております。案文は、現時点でありませんので、事務局とやりとりをして成文化させていただけたらと思います。

ただいま、いろいろとご意見を伺いましたので、報告書の中身は変わりませんが、体裁の面で、整えなければいけない部分があります。

今後の取り扱いでございますが、今日は最終回でございますので、内容的にはご異論がないようですから、文言修正につきましては、事務局と、私と副会長で整理させていただき、このような形で進めさせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

【出席委員全員】

よろしく申し上げます。

【会長】

よろしゅうございますか。それでは、そのようにさせていただきたいと思います。最後でございますので、大変恐縮ですが、委員の皆様方から一言ずつご感想なりを

いただけたらと思います。

**【委員】**

短い間でしたけれども、会長をはじめ皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

私も練馬区に住んで今年で57年目になるのですけれども、光が丘地区というのは、グランドハイツのときから比較的近隣ですのでなじみがある地域でございました。冒頭の会議でご説明がありましたとおり、光が丘だけではなくて、東京都で、高度成長期におけるひずみが出ている地域、練馬区においては、その一つの代表的なものがこの光が丘地区ではないか。

その中で、今般、四中の跡施設検討という非常に意義のある重要な会議のメンバーにさせていただきまして、本当に自分自身もいろいろと勉強させられることが多く、今後に生かせるのではないかと思います。また何か機会がございましたら、ひとつよろしく願いいたします。ありがとうございました。

**【委員】**

私も練馬区に住んで40年以上になります。今回、このような形でいろいろな委員たちともお話しして、学ぶところが多々ございました。少しでも練馬がよりよくなるように、住みやすくなるようにいつも願っています。すてきな病院が建つ日を本当に楽しみにしております。よろしく願いいたします。

**【委員】**

私は光が丘で子育てし、娘が二人とも光四中の卒業生です。大変思い入れのある中学校で、子どもたちも今後の活用を楽しみにしていると言っておりましたし、私もそう思っております。

このような検討会議に参加させていただいたことをとても嬉しく思いました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

**【委員】**

私は、光が丘第四中学校が閉校になるときの会議にもメンバーとして出席したわけですが、今度は跡地施設についての検討ということで、先ほど、七小ともということがありましたけれども、確かに、一体化して考えたのではないかというふうに思っています。

光が丘第四中学校に病院の方がいいのではないかということに大体なりそうでございますし、また、七小についてもある程度考えられたということは良いことだったなと、こんなふうに思っています。

**【副会長】**

私は荒川区の出身ですけれども、私の中学校はとっくに統廃合されて、一時期、スタートアップオフィスみたいになって、今後また再開発が行われるという。時代の趨勢によって、施設とか、あるいは、それがあつた土地というのは、どんどん変わっていかなければいけないのかなというふうに考えています。

そういう意味でも、この検討会議は終わりましたけれども、役所の職員の方々のご苦労はこれから大変かと思いますが、ぜひ頑張ってください。練馬区の区民全体のために寄与するような施設づくりをお願いできればと思います。以上です。

**【会長】**

私は専門が都市計画でございまして、実は、光が丘の計画も、正面からではありませんが、若干、関係した経緯がございます。

初めに述べましたとおり、幾つかの学校統廃合の、この委員会の前身の委員会に加わせていただいて、今回は四中ということで、最初の都市計画というものが、だんだん時代の流れとともに変化を余儀なくされているというか、「都市100年の計」とは言いますが、現在の世の中の変化というのは目まぐるしいというようなことで、これは都市計画をやった者としては驚きであり、また、忸怩たる思いもせざるを得ない。そういう世の中であるということは認識しながら、今回の会議の結論が、このまち全体にとって、良いものであって欲しいということを願いたいというのが私の感想でございます。皆様方、ありがとうございました。

**【企画部長】**

8月28日の第1回会議から、3回にわたりましてご出席賜りまして、まことにありがとうございます。いただきましたご意見につきましても、先ほど会長からも、地域からの目線ということをおっしゃっていただきまして、区民の方から考えて、自分達のお話としてご参加いただけたということは、とても良かったのではないかと考えております。

これ以降でございますけれども、庁内の調整もありますし、また議会にも報告し、区民の皆さんへも説明会を、既にスケジュールを大体組んできております。丁寧にご説明して、四中については病院にしていくということで、活用してまいりたいと思います。

私どもは区民の皆様の財産を守るのが仕事でございますので、それを胸にしっかり置きまして、今後とも仕事に取り組んでまいりたいと思います。本当に皆様、ありがとうございました。

**【会長】**

それでは、これをもちまして検討会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。